

道の駅おがわまち再整備事業

(予算事業名：地域活性化拠点整備事業費)

令和6年度目標額：5,000万円

事業概要

観光と産業の拠点を創出するため、平成2年11月に開館した埼玉伝統工芸会館（道の駅おがわまち）を「手漉き和紙と有機の里 道の駅おがわまち」として再整備する取組です。

令和4年度から6年度にかけて実施設計と工事を行い、令和7年3月のリニューアルオープンを目指しています。

背景・課題

和紙産業の振興



町の伝統産業である和紙産業の振興（販路拡大や普及啓発等）を図るため、和紙製品のPRや身近に和紙を感じられる環境の整備が必要です。

道の駅の機能強化



道の駅は第3ステージを迎え、「観光」「子育て応援」「防災」等の地方創生を推進する拠点としての役割が求められています。

施設の老朽化



施設は建設から30年以上が経過し、躯体・設備ともに不具合箇所が多発しており、施設維持には大規模改修等を行う必要があります。

道の駅おがわまち再整備基本計画を策定

再整備の方向性

✓ 和紙を中心とした観光施設としての再整備

和紙を中心とした展示に変更するとともに、体験メニューを充実させ、利用者増と満足度の向上を図ります。

✓ 道の駅としての設備機能の充実

24時間利用可能なトイレを改善するとともに、休憩機能、子育て支援機能、防災機能や情報発信機能を強化します。

✓ 産業振興機能の充実

地元農産物を活用した飲食の提供とともに、地元産品を活用した新商品の開発と販売を強化し、農業や商工業を活性化させます。

再整備イメージ ※今後、変更の可能性があります。



寄附の使い道

企業様からのご寄附は、

施設リニューアルに伴う改修費用等に活用予定です。

小川町の“観光の新たなターミナル”を目指して

この道の駅のリニューアルに併せて、施設の敷地に沿うように流れる一級河川「槻川（つきがわ）」に親しむことができる水辺空間を整備する計画を進めています。この新しい道の駅を起点として、点在する自然・文化・歴史などを体験できる観光スポットを結びつけ、町のさらなる魅力発信をしていきます。そして、豊かな自然を活かした観光の新たなターミナルを目指します。企業の皆様のご支援をお待ちしております。

槻川

